

授業科目名 (英文名)	ミクロ経済学 (経済学部・専門教育 科目) (Microeconomics)	科目区分 対象学生	
単位数	4.00	開講年次・ 学期	2021年度・通年
担当教員	水野 利英	所属	国際商経学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>【前期】標準的な価格理論の入門的な知識をマスターすること。 【後期】情報の経済学を中心とした、やや進んだミクロ経済学の知識を得ること。</p>		
講義内容・授業計画	<p>【前期】標準的な価格理論について概論する。以下の概要を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．需要と供給 2．余剰分析 3．費用関数 4．競争企業の行動 5．独占 6．生産関数 7．一般的な企業行動 8．選好と効用 9．消費者の行動(1) 10．消費者の行動(2) 11．一般均衡分析(1) 12．一般均衡分析(2) 13．競争市場の効率性(1) 14．競争市場の効率性(2) 15．市場の失敗 16．定期試験 <p>【後期】本講義では、情報の経済学を中心とした、やや進んだミクロ経済学について概論する。以下の概要を予定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．フォンノイマン・効用関数 2．非協力ゲーム入門(1) 3．非協力ゲーム入門(2) 4．アドバース・セレクションとスクリーニング(1) 5．アドバース・セレクションとスクリーニング(2) 6．モラル・ハザードとインセンティブ(1) 7．モラル・ハザードとインセンティブ(2) 8．シグナリング(1) 9．シグナリング(2) 10．メカニズム・デザインとオークション(1) 11．メカニズム・デザインとオークション(2) 12．メカニズム・デザインとオークション(3) 13．マッチング(1) 14．マッチング(2) 15．まとめ 16．定期試験 		
テキスト	なし。講義中のメモはユニバーサル・パスポートにアップロードする。		
参考文献	講義の中で指示する。 以前に作成した講義ノートとプレゼンテーションが https://mizunotoshide.web.fc2.com/ にある。必要に応じて参照する。		

成績評価の基準・方法	定期試験(100%)
履修上の注意・履修要件	<p>従来と異なり、通年科目である。 前期、後期とも定期試験を受験する必要がある。。</p> <p>・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>
実践的教育	該当しない
備考	